



セキュリティの抜本的な強化に向け 閉域網接続の情報基盤クラウドを導入

カスタマイズの柔軟性が高い「NSCOCOON」で最適機能を実現

背景

セキュリティの抜本的な強化に向けて電子メールクラウドサービスを変更する。運用負荷が低いクラウドの利点を活かしながら、閉域網接続や誤送信対策などを実現するため、高い柔軟性を備えたクラウドを求めた。



日鉄住金テクノロジー株式会社
業務部
システムグループ
布目 賢治氏



日鉄住金テクノロジー株式会社
業務部
システムグループ
高久 喜弘氏



日鉄住金テクノロジー株式会社
業務部
システムグループ
君塚 敦子氏



日鉄住金テクノロジー株式会社
本社：東京都千代田区有楽町1-7-1
設立：2013年
資本金：1億円
従業員数：約3400名

ソリューション

複数のクラウドサービスから、電子メールを含む豊富な機能を提供する新日鉄住金ソリューションズの企業向け情報基盤クラウド「NSCOCOON」を選択。カスタマイズによって必要な機能をクラウド環境に組み込む。

成果

不正アクセスや誤送信による情報漏洩への対策を強化しながら、利便性を向上させることができた。今後は、情報共有の一層の推進に向け、スケジュール、ファイルサーバー、ポータル、文書管理などへの利用範囲拡大を検討する。

電子メールからの情報漏洩対策としてクラウドの変更を検討

新日鉄住金の研究活動支援と製鉄事業の一貫品質保証を担うとともに、「研究・開発支援&ソリューション」「材料評価・分析」「環境ソリューション」「計測・検査ソリューション」の4分野にわたる事業を展開し、「世界一の試験分析会社」を目指す日鉄住金テクノロジー。旧・日鉄テクノリサーチと同グループ5社、および旧・住友金属テクノロジーの計7社が2013年4月に統合して発足した。日鉄住金テクノロジーが電子メールクラウドサービスの変更の検討に着手したのは2013年10月ごろである。当時、同社はパブリッククラウドの電子メールサービスを利用していたが、顧客の膨大かつ重要な技術情報を全社で取り扱う業務特性を踏まえ、クラウドの利点を活かしながらも、電子メールからの情報漏洩について抜本的な対策を実施したいと考えていた。

情報基盤クラウド「NSCOCOON」を選択してカスタマイズ

日鉄住金テクノロジーは、VPN接続などセキュリティの高い形態でのメールサーバーへのアクセス実現、誤送信防止機能の装備といった要件を基に、複数のクラウドサービスを調査。最終候補を三つのサービスに絞り込み、それぞれを詳細に比較した結果、新日鉄住金ソリューションズ（以下、NSSOL）が提供する企業向け情報基盤クラウド「NSCOCOON（エヌエスコーン）」を選択する。NSCOCOONは、Microsoft Exchange Server 2013/同SharePoint Server 2013などの最新プロダクトをベースに、電子メールや社内ポータルといった情報共有機能を包括的に提供するクラウドサービスである。国内最新鋭のデータセンターにおいて高品質の運用と豊富な機能を提供するとともに、ユーザー企業の要望に合わせて柔軟なカスタマイズが行える。

インターネット経由の不正アクセスを徹底防御、利便性も高い

NSSOLは2014年6月から環境の構築を開始。日鉄住金テクノロジーの社内ネットワークからの閉域網接続や誤送信防止機能の装備などに加えて、閉域網外からのアクセスのためリバースプロキシ経由でのID/パスワード認証に端末認証を追加した多要素認証を実現している。日鉄住金テクノロジーは計画通り、2014年9月からNSCOCOONの本格運用を開始。クラウドの利点である運用負荷の低さを活かしながら、最新のプロダクトによる利便性の高いサービスを導入することができた。

今後は社内の情報共有の一層の推進に向けて、NSCOCOONの利用範囲拡大を含めた施策を検討していく。「スケジュール」や「ファイルサーバー」「ポータル」「文書管理」といったNSCOCOONのサービスメニューが検討対象になっている。

Key to Success

日鉄住金テクノロジーが情報基盤クラウドのNSCOCOONを導入したのは、電子メールのセキュリティを抜本的に強化するためである。

業務部 システムグループの布目賢治氏は「7社が統合して日鉄住金テクノロジーが発足したタイミングで全社に導入した電子メールクラウドサービスは、インターネット経由でアクセスし、さらにその経路の保護が万全でなかったため、不正アクセスで情報が漏洩する懸念があり、抜本的な対策が必要だと考えていました」と振り返る。

同社は2013年10月ごろから新たなクラウドへの変更を検討。通常よりもカスタマイズの柔軟性が高いサービスによって、より安全で利便性が高い仕組みを実現したいと考えた。

布目氏は「クラウド環境を当社の社内ネットワークと閉域網接続することでインターネットからの不正アクセスを防ぐとともに、誤送信による漏洩対策として添付ファイルの暗号化、メールの遅延送信などを行いたいというニーズがありました」と語る。

複数のクラウドサービスを調査し、同社が選択したのがNSCOCOONだ。

「他のクラウドサービスと異なり、NSCOCOONでは環境の構築・運用を担当するSEの顔が見えました。サポート体制も手厚くしてもらい、当社の課題解決に向けてプロジェクトを確実に推進できるITパートナーだと感じました」（布目氏）

業務部 システムグループの高久喜弘氏は「NSCOCOONは、要望に対応するカスタマイズを柔軟に行ってくれる点が大きな特徴です。リバースプロキシによる端末認証やクラウド環境のサーバーのきめ細かな設定変更など、

オプションで用意されていた以上のものを、実現することができました」と振り返る。

NSSOLは2014年6月からクラウド環境を構築。2014年9月には計画通り日鉄住金テクノロジー向けのサービス提供を始めた。

オプション以上のカスタマイズと豊富なメニューによる安定運用を実現

NSSOLは、日鉄住金テクノロジーから頻繁に発生した技術的な相談にも対応した。

業務部 システムグループの君塚敦子氏は「NSSOLのエンジニアは初歩的な質問についても分かりやすく回答してくれます。自分と同じ会社の人であるかのように、気軽に相談ができました」と述べる。

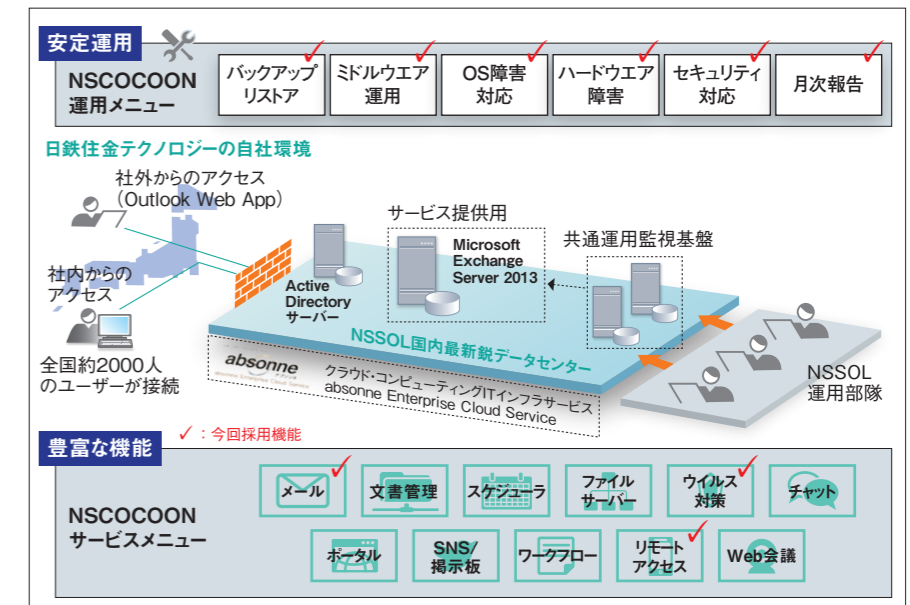
豊富なメニューを用意する運用サービスへの評価も高い。

「NSCOCOONによって、当社はクラウドの利点である運用負荷の低さを維持しながら、最新のプロダクトによる利便性の高い電子メールサービスを導入することができました」（高久氏）

今後は、社内の情報共有の一層の推進を検討していく。

布目氏は「NSCOCOONの導入に際してはNSSOLのエンジニアが予想以上に素晴らしい仕事をしてくれました。ともにプロジェクトへ取り組むことで、当社IT部門のスキルも高まったと思います。今回のNSCOCOONの導入では安定稼働を優先して慎重にプロジェクトを進めましたが、2015年度はスケジュールやファイルサーバー、ポータル、文書管理といった機能の利用拡大を検討するなどし、さらに利便性の高い情報共有基盤を整備していきたいと考えています」と述べる。

日鉄住金テクノロジーが導入した「NSCOCOON」の概要



コアテクノロジー

閉域網接続、リバースプロキシ、誤送信防止、Microsoft Exchange Server 2013

システム概要

- 情報基盤クラウド：NSCOCOON（エヌエスコーン）
- ユーザー数：約2000